

# くすのき

親和女子高等学校 進路通信 高校3年 2021年度第8号

## 《自他信頼》

夏休みが終わり、2学期が始まりました。夏休みの間、勉強はほぼ計画通りに行えたでしょうか。

さて、世の中は、コロナ禍の第5波の最中であって、感染拡大の年齢層の若年化が進んでいます。「感染爆発」という言葉が、連日報道で使われている結果、その深刻性が逆に日々薄れていっているように思います。

私はつくづく日本という国は奇妙な国だと思います。世界を見ても、民主主義国家であれ、個人の権利を抑制するロックダウンが普通に行われてきました。ですが、日本だけは、ロックダウンをしません。政府は日本にそぐわない、といって、知事会などが真剣に検討することを促しても、実行しません。この「日本にそぐわない」理由は何なのか、と考えた時、日本という国は、「性善説」に則った国なのだと、改めて感じました。首相も大臣も会見で国民に「お願いします」と頭を下げます。世界的に見て実に珍しい場面だと思います。欧米では、同じような場面であっても、「Let's go」的なニュアンスで言っていると思います。日本は、あなた方の良心を信じますので、その良心に従った行動をとって下さい、と言っているわけです。儒教的観念だけでなく、日本古来の「まごころ」といった、古代から連綿と引き継がれてきた日本人のDNAみたいな、「集合的無意識」を喚起しているわけです。それをどうこう批判しようとは思いませんが、奇妙な国だなあ、と思います。

学校は、私たち教師は生徒であるあなた方を信じ、あなた方は私たち教師を信じ、その信頼関係に基づいて成り立っている場所です。「信頼」は「契約」のように法的拘束力があるわけではありません。あくまで心情としてもっているものです。あなた方がもっている可能性を信じ、可能性の発露を促すべく私たち教師は努力をしていますし、今後もそうでしょう。ですので、あなた方生徒自身も教師の思いを信じて、日々努力をしていってほしいと思います。そして、努力をしている自分を信じて、勉学に励んで下さい。但し、「私は感染しないわ」という、どこか宗教じみた過信、盲信みたいなものはいただけませんからね。

## 《2学期の動き》

今日、入試出願説明会があります。9月1日以降には、共通テストの願書が届きますので、それを受けて、放課後に共通テスト受験の説明会があります。学校推薦型選抜・総合型選抜入試の出願の動きも、加速していきます。まさに、受験モードが本格化していきます。ですが、周りの動きに惑わされ己を失うことがないように、自分を律しながら、日々を送って下さい。この「くすのき」第1号に進路関係日程を載せましたが、1月15日・16日の共通テスト、2月の私大の一般入試、2月下旬からの国公立大の二次試験、そして、校外模試にもあります。それらを念頭において、計画を立て、突き進んでいって下さい。校外模試に関しては、案内はしますが、本当に必要と思われるものを厳選して受けるようにして下さい。

## 《後記》

進路指導室前に、さまざまな大学の冊子や説明会の案内などが届いています。いくつかの大学の昨年度の入試問題集もあります。願書もあります。見に来て下さい。入試問題集は、タダで手に入る問題集と思ってやってみることを勧めます。例えその大学を受験しなくても効果的だと思いますよ。

〈保護者の方々にも読んでいただきましょう〉

[進路通信]などの進路指導部が発信する情報の一部を親和女子高等学校HPでも閲覧できます。